

Hope 希望を持ち
Only one かけがえのない自分を磨き
Try 未来に向けて努力する
勉強にスポーツに「熱く」なる場所
一人ひとりの「ほっと」できる場所

太良高校 HOT通信

学校ホームページ

(QRコード)



スクールニュース

(QRコード)



3年生による進路体験発表会

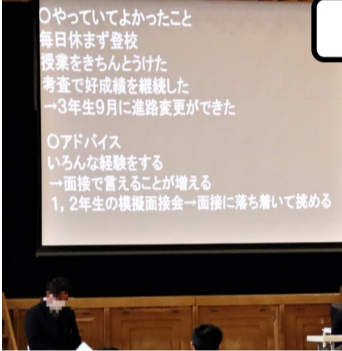
2月17日(金)進路体験発表会を行い、就職の3名、進学の名が発表をいたしました。将来の夢や目指す人物像を実現できる進路先を選んだこと、勉強と部活動、学校行事等に積極的に取り組むことの大切さを1、2年生に伝えました。最後には佐賀県産業人材課参事の原様から講評と講話をしていただき、佐賀県に魅力があることや就職先を選ぶときに考えたことを教えていただきました。1、2年生からは「勉強を頑張ろう」と思ったという感想が多く聞かれました。



就職者の発表



進学者の発表



原様より講評

学校に感謝、大掃除、2月10日(金)最終授業日

私たち3年生は、感謝の気持ちをもって卒業したいと考えています。第一弾は「仲間」に感謝ということで、クラスメイトやクラスメイト以外でもこの3年間を一緒に過ごした仲間たちにメッセージを書きました。第二弾は、「家族に感謝」。書いた手紙は、3月1日(水)の卒業式に家族に渡す予定です。そして、今日が「学校に感謝」。学びの場であり、いろいろなことを経験させてくれた学校。限られた時間でしたが、楽しく掃除ができました。残すは卒業式です。私たちの感謝の気持ちを感じていただける式になったらいいと思います。



こんな授業やってます Part 4

【栽培】

『栽培体験』は1年生の選択授業で、安富先生と一緒に20名で元気に頑張っています。これまでに、ピーマン・キュウリ・ナス・サツマイモ・九条ねぎ・白菜・キャベツ・ブロッコリー・玉ねぎ・豆類・ジャガイモを植えて育てました。やり方やコツを教えてもらいながら丁寧に作業しています。うねたても全員できるようにしました。育てた野菜を収穫するのは、とても嬉しいです。3月には収穫したサツマイモを使って調理実習をする予定なので、楽しみです。



【グリーンデザイン】

グリーンデザインは講師の安富先生のご指導の下、2年生9名で活動しています。活動内容としては、管理棟南側のロータリーや事務室玄関前の花壇等に、季節に応じた花(植物)を植え、校内を華やかにしています。また、入学式や卒業式等の行事の際には、プランターに植えた花を会場周辺に飾ります。花は環境に対して非常にデリケートなので、日当たりや日照時間、水やりのタイミング等にも配慮しています。また、植物が育つのに適した土づくり等も自分達で行っています。一年を通して暑い日や寒い日もありますが、花や土に触れながら楽しく活動しています。



保健部より

政府は5月8日から新型コロナウイルス感染症を感染症法の位置づけとして季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行する方針を決めました。現時点での情報ですが、「5類」になると行動制限や海外からの入国する人への接種証明等要請の措置がなくなります。また、診療や入院の受け入れが一部の医療機関から幅広い医療機関で対応できるよう段階的に移行し、マスク着用も個人の判断にゆだねる方向で検討されています。この感染症に対する対策は、政府の要請に基づく一律な対策から個人や集団が流行やリスク等に依って主体的選択的に行うことになるという考え方を示しています。
2月になり春めいた日差しも感じはじめました。とはいえまだまだ気温が低く空気も乾燥しています。今年も、新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザの流行も懸念されます。佐賀県では、すでにインフルエンザの流行発生の注意報が出され、現在も継続中です。今後、感染者の増加や集団生活の場での感染拡大の恐れがあります。この2つの感染予防対策は基本的に同じです。日頃から規則正しい生活を心がけ、これまでの対策(手洗いの励行、マスク着用、部屋の換気、人混みを避ける、咳エチケット)を継続していきましょう。慌ただしい日々ですが、みんなで協力して感染症に負けない環境をつくって新年度を迎えたいと思います。加えて、特措法の対象でなくなること知事が行っています。

From NL

Vol. 12

レポーター 中尾 さん (平成25年度卒)
現在、オランダのエラスムス・ロッテルダム大学に在学中

//// From /// Netherlands ///Vol.12/////

2022. 12. 16 その2

Hallå! こんにちは、今日はスウェーデン語の挨拶でレポートを始めてみました。というのも、今回は少し"寄り道"して、前回のキャンドルの話つながりで、以前旅行で訪ねたスウェーデンでの経験をシェアしたいと思います。

ところで、スウェーデンといえば、何を思い浮かべますか? 日本でも馴染みが深いといえばイケア (IKEA) でしょうか? スウェーデンはオランダよりさらに北にある北欧の国。オランダよりもっと厳しい冬がスウェーデンには訪

れます。外務省のデータによればスウェーデンは面積は日本より少し大きいものの、人口はオランダよりさらに少ないそうです。(ちなみにオランダの面積は九州と同じくらい)オランダ人よりレア(?)なスウェーデン人ですが、何かのご縁か、日本やオランダでスウェーデン人と知り合う機会に恵まれ、わたしはその友人を訪ねて数年前の夏、10日間ほどスウェーデンで過ごしました。その中で驚いたのは、夜は人口的な灯りを灯すのではなく、キャンドルホルダーをテーブルに置いてキャンドルの灯りで食事を楽しむという習慣。また、性別に関係なく一人暮らしの家にもキャンドルがストックされているというこ

と。それまでは、キャンドルといえば特別な機会やイベントで灯すもの、というイメージで、日常生活の中で使うもの、というイメージではありませんでした。そしてキャンドルはなんとなくフェミニンなものだと決めつけていたところもありました。でも北欧やオランダではキャンドルは日々の生活で馴染みが深いもの。
今年、ちょっと早めのクリスマスギフトとしてスウェーデン人の友人がくれたのも冬らしいシナモンの香り付きのキャンドルでした。今ではわたしもキャンドルの大ファン。暗くなれば部屋にあるいくつかのキャンドルを灯して勉強をするのが日課になりました。